

4 7月の各種会議等

(1) 第8回 実施計画策定委員会・・7月24日(水) 15:30～、東庁舎会議室

① 前回(第7回)の策定委員会報告

② 部会報告及び質疑

ア 校名・校歌・校章・制服等検討部会

- ・ジャージ等選定業務実施要項の確認
→制服取り扱い業者は、最低2つにして欲しい。
- ・カバンの検討(基本仕様)について
- ・シューズの検討(基本仕様)について

イ カリキュラム等検討部会

- ・第9回カリキュラム検討部会について
教育課程の特色検討(卒業式と修了式、入学式についてなど)
平成25年度の取り組みについて検討した。
- ・作業部会の活動について
一貫校のスキー授業の扱いについて、今後の検討課題の一つとする。

ウ 施設設備等検討部会

- ・施設設備検討部会の検討事項について、確認した。
学校施設設備、グラウンド外構及び泉田小跡地利用、通学路・通学方法・スクールバス運行、学校事務の取り扱い、備品の移管、学校集金、公簿、スクールバス等の運用と経費負担について、検討していく。

③ 萩野地区小中一貫教育校「総称」の選定について

ア 公募結果総括

- ・応募総数262票、候補数135候補

イ 事前アンケートから

事前アンケート(ポイント制による1～3位)を行い、2候補に絞った。

- ・和泉野学園 ・萩野学園

ウ 総称候補の選定

- ・小中学校との整合性(一貫教育校は萩野小学校、萩野中学校からなる。)を考え、「萩野学園1年生」「萩野学園7年生」と言える名称がよい。
- ・萩野地区全体を表す名称である。
- ・萩野村からくる歴史ある地名で、「萩」の花は華やかでは内が、上品な花で力強さがあり、「萩」の名は残したい。などの意見が出され、総称として「萩野学園」が最も適当であるとなった。

この結果「萩野学園」に決定し、教育委員会に報告する。

④ ジャージ等の選定にかかる仕様等について

萩野地区小中一貫教育校のジャージ等選定業務実施要項の確認

⑤ 萩野地区小中一貫教育校の管理職構成案の変更について

- ・小中一貫教育校基本計画では管理職等配置が、校長1、教頭2、主幹教諭1となっていたが、北部の校長会で、一貫教育校の学校経営の在り方を検討している中で、校長1、副校長1、教頭2の配置の方が、指導系統と担当が明確になり、スムーズな4-3-2のブロック制の運営ができるとの意見がだされ、承認された。

<校名・校章・校歌・制服等検討部会>

(2) 校名・校章・校歌・制服等検討部会

第8回・・・7月18日(木) 15:30～、東庁舎会議室

① 萩野地区小中一貫教育校【総称】候補選考について

委員によるアンケートでは、和泉野学園、萩野学園、桜学園などのポイントが高かった。策定委員会に報告する。

② 萩野地区小中教育校 校章決定のプロセスについて

ア 校章デザイン公募(平成25年9月～25年11月)

イ 校章デザイン選定(平成25年11月～25年12月)

ウ 校章デザイン成型(平成26年1月～)

エ 校章モニュメント作成(平成26年度中)

オ 完成校章公表(平成26年度中)

③ 制服・ジャージ等作業部会における作業経過について

ジャージ等選定業務実施要項、プレゼン実施要項について

(3) 制服・ジャージ等選定作業部会

第6回・・・7月18日(木) 13:30～、東庁舎会議室

① ジャージの選定業務実施要項について

基本仕様(運動着は小中とも同じデザイン、上はかぶり型、すそはしぼりタイプ。下は、セミストレートタイプ、色は紺かブルー系。象徴性、素材のよさ、機能性の高いもの、名前は刺繍せずタグで。)

平成27年4月以前でも、前倒しで、新ジャージの購入を検討したいとの意見。

② カバンの検討

プレゼンしないで選定。作業部会でカタログで2社に絞る。小学生の指定カバンも一応提案する。

機能として、撥水性、安全のための反射材、ファスナーのついたもの。

業者は、キタダとマルヨシの中から選定する。

③ シューズの検討

プレゼンしないで選定。作業部会においてカタログで2社に絞る。

内履きは小中とも指定する。小学生下学年用内履きは、ひもなし。滑らなくて軽い。抗菌、抗カビタイプ。中敷きが外せるもの。

外履きは、中学生のみ指定。業者は、ラッキーベル（小）、アシックス（中）、教育シューズ（小中）から選定。など

<カリキュラム等検討部会>

（４）カリキュラム等検討部会

第９回・・・７月９日（火） １５：３０～、東庁舎 会議室

- ① ８回カリキュラム等検討部会報告
- ② 作業部会の報告
 - ・経営検討作業部会
 - ・運営組織検討部会（カリキュラムと並行して行事の検討を行っている。）
 - ・カリキュラム編成作業部会
- ③ 教育課程の特色検討
 - ア 発達課題に応じた学年区分（４－３－２）を生かした指導
 - ・ブロックごとの経営について、提案された。
 - 基礎充実期、活用期、発展期のそれぞれの重点指導事項の確認。
 - イ 卒業式と修了式、入学式
 - ・入学式は小学校１年生、卒業式は６年生と９年生が行う。６年生の卒業式の内容については今後も継続検討で。
 - ・修了式は、１から６年は３月１８日、７から９年は卒業式の前日に。

<施設設備等検討部会>

（５）施設設備等検討部会

第１２回・・・７月１７日（水） １５：３０～、東庁舎 会議室

第１１回施設設備部会報告

- ① 第４回図書作業部会について
- ② 第７回策定委員会について
- ③ 協議
 - ア メモリアルコーナーについて
 - ・仕様について（ホール両側の階段下は収納スペース。放送室扉の建築窓は設けない。
 - イ 泉田小跡地利用について
 - ・泉田地区学校づくり協議会から、フィールドアスレチック設置をとの要望があった。保育所用の畑は残していきたい。
 - ソフトテニスコートは砂入り人工芝で。
 - ・泉田小跡地の管理はスクールバス車庫とテニスコートは学校で管理。他は市全体として検討。

<その他>

(6) 小中一貫教育シンポジウム

・・・7月10日(水) 18:00～、ゆめりあ アベージュ

① 第一部 情報交流

- ・協議(小中一貫教育推進協議会の設置について)
新庄市の小中一貫教育について
平成25年度各中学校区の小中一貫教育について
今後の小中一貫教育について他

② 第二部 シンポジウム

○テーマ 『小中一貫教育で、支え学び合う学校をつくる』

- ・シンポジスト 大石田町立大石田中学校 校長 伊藤 憲一 氏
(小中一貫教育校 大石田町立大石田学園 大石田中学校長)
新庄市立昭和小学校 PTA会長 石井 昭一 氏
(萩野地区小中一貫教育校実施計画策定委員)
新庄市立八向中学校 校長 佐藤 幸正 氏
(八向中学校区小中一貫教育取組校、市教委委嘱研究校)
(コーディネーター 新庄市教育委員会 学校教育課長)

③ アンケートから：

- ・いろいろな立場から小中一貫について率直な意見が交流できてよかった。・意見交流のパネラーが本音を交えながら意見発表していたのがよかった。・3部構成(発表→報告→意見交流)の流れも内容もそれぞれよかった。・今後も続けて欲しい。・シンポジスト(保護者)のお一人が反対の意見を述べた。そこをしっかりと聞いて不安を無くしていくことが一貫教育の前進につながる。・連携がうまくいっても学力が向上しないといけない。など

(7) 泉田地区学校づくり協議会

・・・7月11日(木) 18:00～、泉田小 図書室

① 新庄市の小中一貫について

② 萩野地区小中一貫教育校の教育課程

③ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会

④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明

⑤ 質疑

- ・新しい校舎、泉田小跡地との連絡路は使用するか。
- ・テニスコートの管理は？
- ・4-3-2制とは？
- ・跡地には、遊びの場となるようフィールドアスレチックなどを設置して欲しい。

(8) 昭和小 小中一貫教育校開校に向けての全体保護者会

・・・7月16日(火) 19:00～、昭和小 会議室

① 新庄市の小中一貫について

- ② 萩野地区小中一貫教育校の教育課程
- ③ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明
- ⑤ 質疑
 - ・一貫校のP T A組織について 他

(9) 萩野小 小中一貫教育校開校に向けての全体保護者会

・・・7月24日(水) 14:35～、萩野小 体育館

- ① 新庄市の小中一貫について
- ② 萩野地区小中一貫教育校の教育課程
- ③ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明
- ⑤ 質疑
 - 特になし

(10) 萩野中 小中一貫教育校開校に向けての全体保護者会

・・・7月25日(木) 15:10～、萩野中 体育館

- ① 新庄市の小中一貫について
- ② 萩野地区小中一貫教育校の教育課程
- ③ 萩野地区小中一貫教育実施計画策定委員会
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等 等について説明
- ⑤ 質疑
 - 特になし

(11) 昭和地区学校づくり協議会

・・・7月30日(火) 19:00～、昭和地区活性化センター

- ① 実施計画策定委員会部会・作業部会構成
- ② 実施計画策定委員会、部会検討経過
- ③ 各部会の検討事項と進捗状況等
- ④ 萩野地区小中一貫教育校の施設等
- ⑤ 質疑
 - ・昭和の小のグラウンドも利活用して欲しい。
 - ・若い親子の遊べる遊び場、大きな遊具が欲しい。
 - ・昭和の小の校舎を活用したいとの構想もでてきているようである。など